

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

株式会社九州自然環境研究所は SDGsの考えに賛同し、事業活動を通じて持続可能な社会づくりの実現に貢献します。私達は、経営理念である、かけがえのない自然環境を次世代に受け渡していくために、

1. 精度の高い環境調査を行い、科学的根拠に基づく自然との共生の在り方を提案します。
2. 自然環境を保全するための活動の一環として、環境教育に力を注ぎ、積極的に実施します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	環境保全・生物多様性保全活動の実施 絶滅危惧種への対応と、環境を乱す種の調整	動植物・生態系資源調査の実施 2023年30件／年間 →2026年まで30件以上／年間を継続
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	環境教育による自然環境保全活動の実施 知識を広め、活動な活発化を図る	カモシカのパネル展 開催 2023年5回／年間 →2026年まで5回以上／年間を継続
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	社員の健康増進活動による、働き甲斐の向上 疾病による休業を減らす	健康経営優良法人の認定取得 2023年末認定 →2026年までに認定取得

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

九州森林管理局、熊本県、熊本市、山都町との連携による環境調査。
熊本県教育委員会、高森町教育委員会、山都町教育委員会、財団法人阿蘇グリーンストック、熊本県自然保護関係団体協議会のメンバー、熊本野生生物研究会、矢部郷自然観察会、(株)肥後銀行、熊本日日新聞や朝日新聞等のマスコミにおいてのカモシカの知識を広める普及活動の実施。
山都町、多良木町、株式会社肥後銀行で行っているカモシカのパネル展。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	環境保全・生物多様性保全活動の実施	動植物・生態系資源調査の実施 目標:20件／年
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	動植物・生態系の資源調査を織り込んだ業務提案により、目標を達成した。	動植物・生態系資源調査の実施 2021年:33件、2022年:38件、2023年:30件 実績平均: 33.7件／年 (達成)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	環境教育による自然環境保全活動の実施	カモシカのパネル展 開催 目標:20件／年
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	パネル展開催での啓発を行ったが、コロナの影響で、展示会開催が困難となり目標を達成できなかった。	カモシカのパネル展 開催 開催実績: 14件／3年 (未達成)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	社員の健康増進活動による、働き甲斐の向上	2023年までに健康経営優良法人認定取得
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	業務が屋外での作業が中心であり、流行疾病対策のため困難となり、リモート会議等の対応策を捻出したが、認定取得はできなかった。	2023年 未認定

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」を**そのまま転記してください。**

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。**指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。**

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**